



副園長 奥村 綾

新しい年が明け、早1ヶ月が過ぎました。冬らしい寒い日が続いていますが、子ども達は、寒さに負けず、戸外で思う存分遊んだり、走ったりしています。うきうきタイム後には、マラソンを取り入れ、体力作りにも努めています。

雪がちらついた日には、大喜びで園庭に出たり、水溜りにできた氷を手で触ったり、子ども達にとっては、寒さや冷たさも楽しみのひとつ。冬ならではの遊びを楽しむ姿が見られます。

また、『たこあげ』『コマ回し』『福笑い』等、のお正月ならではの遊びも継続して盛り上がっています。

～年中行事～

『どんど焼き』

季節感や日本の文化について学ぶ年中行事。年明け、新年を迎えた園庭で、年末に各クラスで作ったしめ縄を紹介し、一つ一つ焚火にくべ、どんど焼きを行いました。

- 〈ねらい〉 ・日本の伝統行事に触れ、年末からの行事流れを体験する。
- ・焚火を通して煙の動き、匂い、温かさ等、五感を使って季節を感じる。

正月飾りを燃やす事でお家に来てくれた年神様、福を呼んでくれる神様が煙に乗って天に帰りますよという意味を知った子ども達は、空にのぼる煙に手を振り、年神様に「ばいば～い」とお別れをしたり、焚火の炎の色や香りをじっくり観察しながら焚火で体を温めたりしました。



『節分』

今週に入り、節分の日が近づくにつれ、「俺さ一年少の時は鬼に抱っこされて泣いてん。」「俺は追いかけられたから泣いたー。」「でも、年中の時は、豆投げてやっつけたから泣いてないねん。」と、豆まきのことを思い出して年長児達が会話していたり、鬼をやっつけるために大きめの豆を粘土でたくさん作っている子がいたり、みどり組は、ひいらぎに似た葉っぱにイワシの頭を刺し、鬼を追い払うために保育室と幼稚園の入り口にひいらぎイワシを飾ってくれました。



ひいらぎイワシ

準備万端で迎えた『節分』。今日は朝から、「鬼が来るから嫌だー」と、なかなか幼稚園に入ろうとしない子や、いつもと動きが違いソワソワオドオドしている子が多くいました。



こんなに豆作ったから
だいじょうぶ！
でもなんか緊張して
足ががくがくしてきた

『豆まき』では、『節分』とは何か、もしも鬼が来たらどうするか等の話に興味・関心をもって聞き入っていた子ども達。豆に鬼を払うパワーも注入し、自分の中に居る鬼を追い出そう!! と意気揚々と挑みました。先生扮する鬼に向かって「鬼は～そと!」「福は～うち!」とみんなで豆のまき合いをしていると、突然、太鼓の音が響き渡り、鬼が乱入! 雄叫びを上げながら鬼がやってきました。

「キャ～～!」と、後ずさる子、先生に助けを求める子、「鬼は～そと!」と果敢に挑む子も大勢いました。心の中はパニック状態の子もいましたが、泣きながらも、何度も何度も豆を投げている子もいましたよ。

鬼が弱ってきて追い払うことができたと思いきや、2階にまたまた鬼が現れました。

「鬼は～そと!!」「鬼は～そと!!」「鬼は～そと!!」みんなで一斉に声を合わせて、見事鬼を追い払うことができました。「怖かったけど、泣かなかった!」「やっつけたった!」「年少の時より泣き止むの早くなったやん!」等と、自分と互いの健闘を讃え合いました。きっと、鬼をやっつけたという強い気持ちを持って、来週からも登園してくれることと思います。



これからも日本の伝統文化に触れ、楽しい思い出を通して豊かな感性や情緒を育てていきます。

どの年齢の子ども達も、今のクラスで過ごす日が残り1ヶ月半となりました。1・2学期それぞれのクラスで、さまざまな経験をしてきた子ども達。個々で遊ぶことが多かった年少児も、友達との関わりやクラスで過ごすうちに仲間意識が芽生え、今では、子ども達だけで遊びを展開する姿も見られます。クラスによって興味のある遊び、盛り上がった遊び、継続してきた遊び等は違いますが、日ごろからクラスだよりや動画等で、担任の願いや子どもの考えや思い、そして試行錯誤のプロセスや育ちを可視化してお伝えしてきました。

3学期も、継続してきた遊びを広げたり、新たな遊びに取り組んだり、子どもの興味や関心、クラスによって表現の仕方は違いますが、保護者の皆さんに子どもの育ちをできる限りお伝えしていきます。今年度初めの頃のクラスだよりや動画配信等も合わせて、じっくりと見返してご覧いただき、子どもとの対話を楽しみながら、1年を通して成長した様子を実感していただければと思います。